

# 科目名： 児童英語概論

## 1. 担当教員

・名前：遊佐 重樹(ゆさ しげき)

## 2. 授業の目的

### (1) 授業の目的

児童に英語を教えることの意義や習得理論等を理解することを目的とする。

### (2) 到達目標

- ① 児童英語教育に用いられる単語を理解する。
- ② 児童英語教育に必要な指示文(Classroom English)等を理解する。
- ③ 児童への一般的な英語教授法を理解する。

### (3) ディプロマポリシーとの関連

人間発達学科のディプロマポリシー「1. 演習(ゼミ)、卒業研究だけでなく、全課程を通して、人間科学としての教育学研究の基礎を身につけること。2. 保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の取得を目指す学生は、専門教育課程を通し、資格取得にとどまらず、よりよい職業人としての基礎を身につけること。」に基づき、特に児童に英語を教えることに関する知識の獲得を目指す科目である。

## 3. 授業の概要

児童に英語を教えることの意義や習得理論、さらに国際理解教育との関連などを学ぶ。次学期開講の「児童英語教授法演習」の前段階として、主に小学校で英語を教える際に用いる指示表現(Classroom English)や必須単語を身につけておく。

## 4. 授業計画と予習・復習の内容及び必要な時間

回	月日	テーマ・内容	予習・復習	備考
1		・オリエンテーション…授業の進め方		
2		・単語&教室で使う英語表現① ・外国語活動の目的と目標	(予習) 単語&教室で使う表現を調べ、発音練習する。この授業で取り上げる内容についてインターネット等で調べる。 (復習) 単語&教室で使う表現をしっかり覚える。授業で取り上げた項目についてインターネット等で調べ、理解を深める。	
3		・単語&教室で使う英語表現② ・関連分野から見る外国語活動の意義と方向性		
4		・単語&教室で使う英語表現③ ・指導者の役割、資質と研修	//	
5		・単語&教室で使う英語表現④ ・教材・テキストの構成と内容	//	
6		・単語&教室で使う英語表現⑤ ・指導目標、年間指導計画の立て方と具体例	//	
7		・単語&教室で使う英語表現⑥ ・言語材料と4技能の指導	//	
8		・単語&教室で使う英語表現テスト(①~⑥) ・教材研究①		
9		・単語&教室で使う英語表現⑦ ・教材研究②	//	
10		・単語&教室で使う英語表現⑧ ・指導法と指導技術	//	

11	・単語&教室で使う英語表現⑨ ・教材・教具の活用法	//	
12	・単語&教室で使う英語表現⑩ ・評価のあり方、進め方	//	
13	・単語&教室で使う英語表現⑪ ・授業過程と学習指導案の作り方	//	
14	・単語&教室で使う英語表現⑫ ・授業づくり		
15	・単語&教室で使う英語表現テスト(⑦~⑫) ・外国語活動の成果、課題と今後の展望 ・期末テスト		授業評価実施
予習・復習	授業前にその日のトピックについて図書館等で調べておくこと。復習では、その日のうちにノートをまとめ、疑問点を調べて加筆しておく。目安の時間として、授業 1 コマにつき、予習 120 分、復習 120 分が必要。		

※ 授業の展開によっては変更の可能性があります。変更の場合には随時お知らせします。

## 5. 評価方法

- (1) 受講態度(30%)
- (2) 期末テスト(50%)…内容は追って発表する。
- (3) 単語・指示文テスト(20%)

## 6. 履修上の注意

- ・受講に際して、心配や不安なことがある場合は、必ず2回目の授業までに担当者に相談してください。事情によっては、レポートなどの代替課題を課すなどの、特別な配慮を行う場合があります。
- ・プリント教材を整理保管するため、クリアファイルを用意すること。